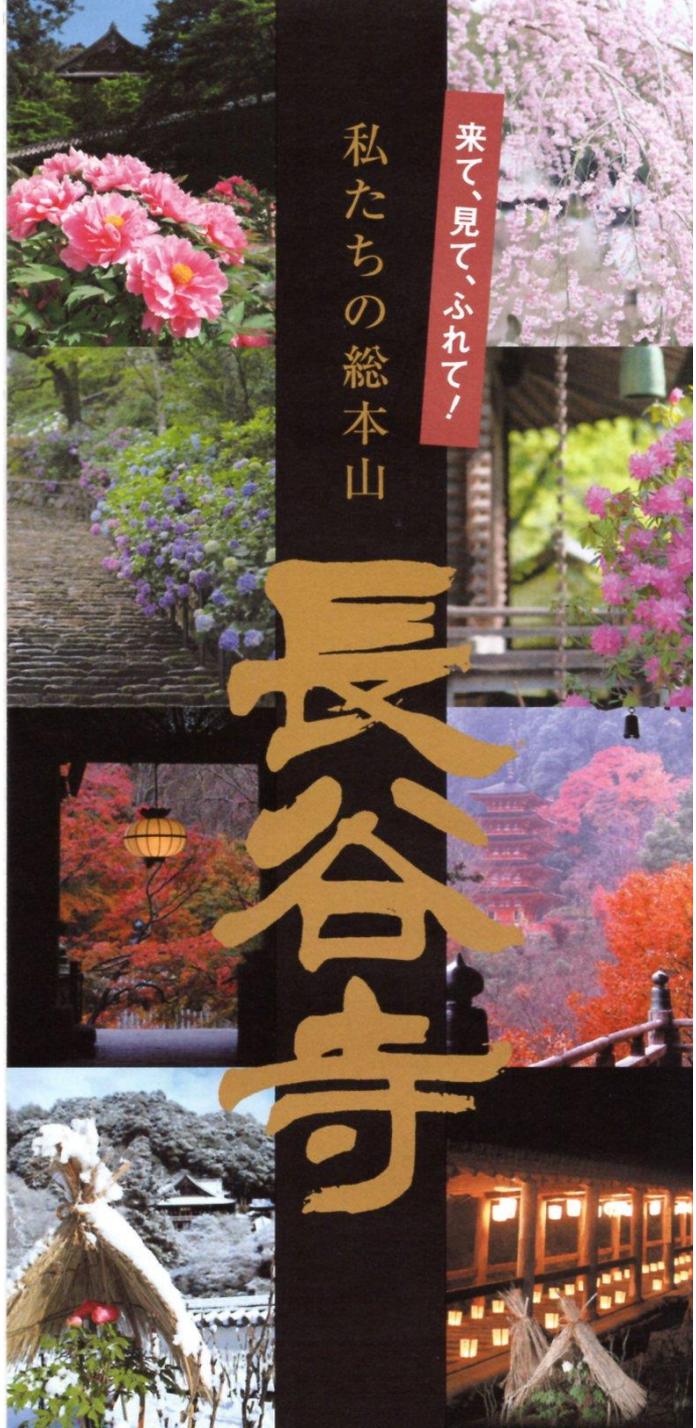


来て、見て、ふれて！

私たちの総本山

長谷寺



歴史 がスゴイ

「隠国の泊瀬の山に照る月は
みちかけしけり
人の常なき」



万葉碑

仁王門前にある歌碑に刻まれるこの歌は、現存する最古の和歌集である『万葉集』に収められているもので、他にも複数の歌に長谷寺のある泊瀬（現在の初瀬）が描かれています。また、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』の舞台としても登場し、長谷寺が奥深い山中の隠れた地にありながら、多くの文化人や巡礼者の憧れの地であったことがうかがい知ることができます。

菅原道真が執筆したと伝えられる「長谷寺縁起文」によると、長谷寺は朱鳥元年（六八六）、道明上人が天武天皇の病氣平癒を祈願して「銅板法華説相図」（千仏多宝仏塔）を西の丘（本長谷寺）に安置したことが始まりとされています。



国宝 銅板法華説相図

その後、神亀四年（七二七）、徳道上人が聖武天皇の勅を受けて、現在の本堂がある東の丘に十一面観世音菩薩を造立したと伝えられています。

この徳道上人は観音信仰に篤く、西国三十三所観音霊場の開祖と伝えられており、多くの巡礼者は山内にある徳道上人を祀る開山堂をお参りします。

伽藍 がスゴイ



仁王門の額

重要文化財の仁王門に掲げられる「長谷寺」の額は、後陽成天皇の御宸筆です。その下をくぐると本堂まで続く重要文化財の登廊に続きます。この登廊は長歴三年（一〇三九）、当時の春日大社の社司であった中臣信清が、自身の子の病氣平癒の御礼に建造したものと伝えられています。全部で三百九十九段ある階段は、上中下の三廊に分かれたつくりになっています。「長谷型灯籠」という楕円体の風雅な灯籠が吊るされているのも大きな特徴です。



登廊と灯籠

登廊の終点には、慶安三年（一六五〇）に、徳川家光によって再建された巨大な国宝の本堂「大悲閣」がそびえています。



国宝 本堂

ご本尊さま がスゴイ

国の重要文化財に指定されている本尊「十一面観世音菩薩像」は、たび重なる火災を乗り越えて再造された八代目の観音さまです。その高さは十メートル十八センチもあり、我が国で最大級の木造の仏像です。

そのお姿は、一般的な「十一面観世音菩薩像」と異なり、右手に錫杖、左手に水瓶を持ち、方形の大磐石にお立ちになっています。特に右手の錫杖は、地藏菩薩の持物であることから、現世利益だけではなく、人々の悩みや苦しみを取り除く徳を併せ持つ特別な観音さまとして「長谷寺式十一面観世音菩薩」と呼ばれています。このお姿の観音さまは、鎌倉の長谷寺をはじめ、全国各地に存在し、大和長谷寺の観音信仰を原点として全国に広まりました。



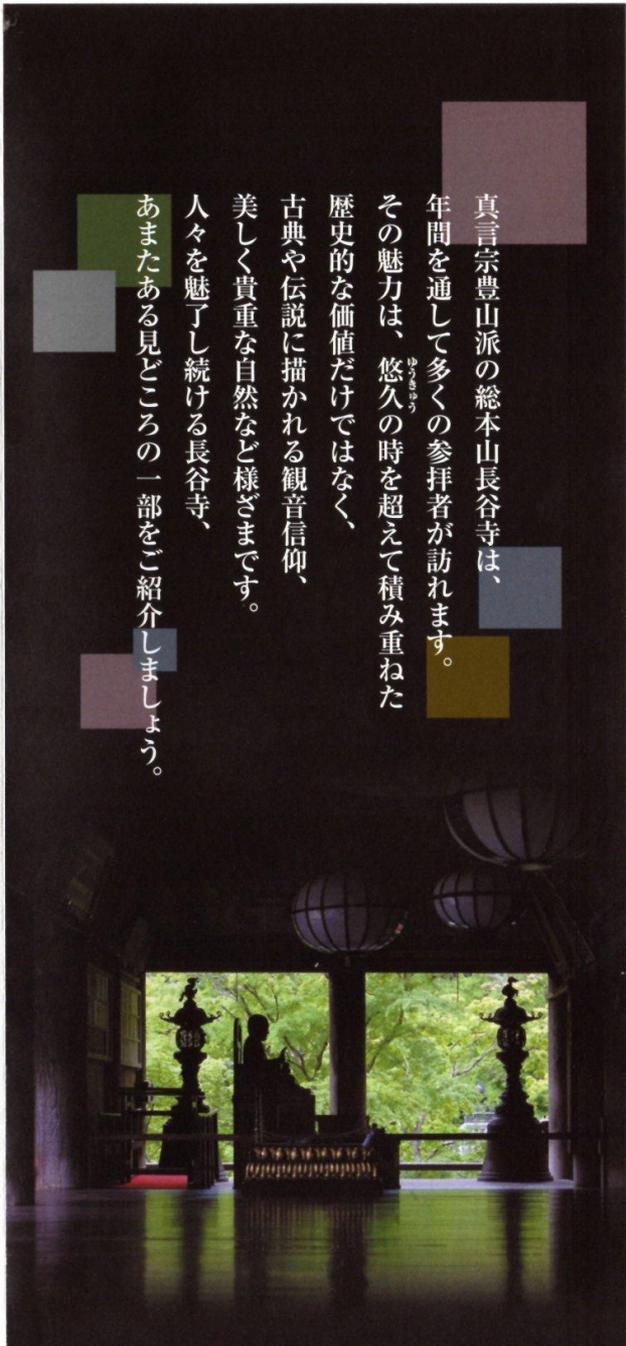
長谷寺本尊 十一面観世音菩薩

総本山 長谷寺

〒六三〇-〇二 奈良県桜井市初瀬七三二-一
電話 〇七四四-四七七一



長谷寺WEBサイト



真言宗豊山派の総本山長谷寺は、年間を通して多くの参拝者が訪れます。

その魅力は、悠久の時を超えて積み重ねた

歴史的な価値だけではなく、

古典や伝説に描かれる観音信仰、

美しく貴重な自然など様ざまです。

人々を魅了し続ける長谷寺、

あまたある見どころの一部をご紹介します。

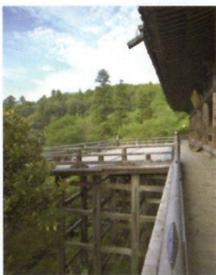
ココも見どころ

参道



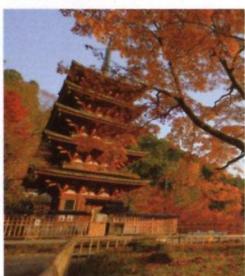
本堂へ続く参道は、中央に位置する登廊と、それを挟んで西参道と東参道が整備されており、その傍らには、四季を彩る花々が植えられています。特に牡丹が有名ですが、桜や紫陽花、木々の紅葉など、多様な植物が私たちを迎えてくれます。

外舞台



本堂正面にある懸造りの外舞台からは、国の天然記念物の暖帯林をまとった与喜山などの山々に囲まれた広大な境内が一望できます。天空の御寺と呼ばれる由縁となっています。

五重塔



外舞台から山内を見渡すと、中でも朱色が特徴的な五重塔が目を引きまします。この塔は昭和二十九年（一九五四）に建立され、昭和の名塔と呼ばれるほど美しい塔です。

伝説

霊験あらたかな長谷寺の観音さまは、様ざまな伝説にも登場します。「今昔物語」では、十一面観世音菩薩を造立した霊木についてふれられ、徳道上人も登場します。また、観音さまの参拝を終えた男が手にしたものを交換し、豊かな生活を手に入れる物語。有名な「わらしべ長者の舞台となったことでも知られています。そこに描かれた門前町はいまでも昔ながらの情緒を楽しむことができます。お参りの後に、ぜひ散策してみてください。

真言宗豊山派

長谷寺は、日本全国に約三カ寺の末寺を有しています。本尊の十一面観世音菩薩は、千三百年の時を超えて、多くの人に信仰されています。あなたも、長谷寺の観音さまに、ぜひ会いに来てご縁を結んでください。

来て、見て、ふれて！

私たちの総本山

長谷寺

